

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012321 - 0007		
作業主管理	保管希望日時	2018年9月18日		(火)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	フランジタンク除染作業										
	発生場所	大型機器点検建屋					2018/9/11	2018/9/11	2018/9/11			
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-86		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	不燃物その他		B 10	D A	1 m ³	0.01 mSv/h		0.5 mSv/h		β 有	50 mSv/h	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類		A 02	D A	4 m ³	0.01 mSv/h		0.1 mSv/h		β 有	5 mSv/h	
3					m ³							
4					m ³							
5					m ³							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0238
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	20 mSv/h	25 μ Sv/h	1 m ³	4 m ³							
1	1	不燃物その他	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	20 mSv/h	25 μ Sv/h	1 m ³	4 m ³	エリアW1	2018/9/18 10:55	1 m ³				1	
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h					エリアW1	2018/9/18 10:55	4 m ³				1	
											m ³					
											m ³					
											m ³					

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
D 伐採木							
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012321 - 0007	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	フランジタンク除染作業									
	発生場所	大型機器点検建屋					2018/9/11	2018/9/11	2018/9/11		
	作業主管G	廃棄物計画グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-86			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	5 mSv/h
	2	可燃物その他	A	04	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	10 mSv/h
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
廃2018	—	09	—	0239						2018/9/12	
調整後保管日時		2018年9月19日			10:00						
【保管時の指示事項等】											

線量測定内容											
測定日	2018年9月19日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-111								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	10 μSv/h	500 μSv/h	エリアW1	2018/9/19 9:45	2 m ²				1
2	1	可燃物その他	5 μSv/h	15 μSv/h	15 mSv/h	エリアW1	2018/9/19 9:45	3 m ²				1
								m ²				
								m ²				
								m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D			伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0023

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	G1南エリアタンク基礎他設置工事									
	発生場所	G1南エリア			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBM	管理番号 F1-ICWBL-85				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	不燃物	B	09	W	B	1.7 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	09	—	0240
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/19 9:15	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0023

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G1南エリアタンク基礎他設置工事								
	発生場所	G1南エリア			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBM	管理番号 F1-ICWBL-85			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物	B	09	W	B	1.7 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0241
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	不燃物 ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2018/9/19 10:25	2 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0023

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日		(木)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1南エリアタンク基礎他設置工事									
	発生場所	G1南エリア					2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBM	管理番号	F1-ICWBL-85			
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物	B	09	W	B	1.7 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0242
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアG	2018/9/20 9:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0023

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1南エリアタンク基礎他設置工事								
	発生場所	G1南エリア					2018/9/12	2018/9/12		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBM	管理番号	F1-ICWBL-85		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物	B	09	W	B	1.7 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0243
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/20 9:40	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0022

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	処理水パツファタンク取替設工事									
	発生場所	処理水パツファタンクエリア内(GK-19)			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 F1-ICWBL-114				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	A	1 m ²	40 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
	2	ケーブル類	B	08	D	A	0.5 m ²	40 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0244
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/19 10:00	1 m ²			1
	2	1	ケーブル類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/19 10:00	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013404 - 0003

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	6G 電気設備定例点検工事								
	発生場所	6号T/B建屋及びびヤード					2018/9/12	2018/9/12		
	作業主管G	電気機器グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/11	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-10		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0245
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1.	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/19 11:05	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月21日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理場エリア					2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-70		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	10 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	10tダンプ(5m3分)×1台=5m3 コンクリートガラ搬出します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0246
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/21 10:35	2 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/21 11:00	2 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/21 11:15	2 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/21 11:35	2 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012802 ~ 0008						
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月18日		(火)	10:30		承認	審査	作成							
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】														
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備建屋						2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12						
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL									
	元請会社					担当者	TEL									
	線量測定年月日	2018/9/12		測定者			測定器名	ICW BL		管理番号	F1-ICWBL-136					
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
	1	保温材			B	O6	W	B	2	m ²	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無	
	2									m ²						
	3									m ²						
	4									m ²						
	5									m ²						
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0247
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/9/18 10:10	2	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	6号機 原子炉建屋地下2階				2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13		
	作業主管G	機械グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/8/24	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-123		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物(金属)	B	01	D	B	0.5 m³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m³			
	3						m³			
	4						m³			
5						m³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0248
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/19 10:45	0.2 m³			1.
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	#1ガレキ撤去工事									
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード			2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13				
	作業主管G	1号機建築グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/9/13	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-39				
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物:制御盤類(電気ブレーカー含む)	B	03	D	B	0.01 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	不燃物:塩化ビニール類	B	05	W	B	0.2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	不燃物:ケーブル類	B	10	W	B	2 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4	不燃物その他(防災シート・スパッタシート他)	B	10	W	B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
メ モ	1) 瓦礫発生場所: 北西ヤード・中継ヤード 2) 防災シート類は透明ビニールに収納につき結露しています。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0249
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月20日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	不燃物:制御盤類(電気ブレーカー含む)②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/9/20 10:30	0.1 m ²			1
2	1	1	不燃物:塩化ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 10:25	0.2 m ²			2
3	1	1	不燃物:ケーブル類⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/20 10:30	4 m ²			1
4	1	1	不燃物その他(防災シート・スパッタシート他)②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/9/20 10:30	1 m ²			1
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月18日	(火)	8:30	承認	審査	作成													
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事																		
	発生場所	物揚場			2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13													
	作業主管G	燃料管理グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/7/18	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-154												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	不燃物(金属ガラ)	B						01	D	A	5	m ²	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	無	
		2																		
		3																		
		4																		
5																				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0255
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-082
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/18 8:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月18日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1Fキャスク取扱機器点検保守								
	発生場所	物揚場						2018/9/13	2018/9/13	
	作業主管G	燃料管理グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/18	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-154	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	可燃物(木材類)	A	03	D	A	2 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
2	難燃物(難燃シート類)	C	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
3						m ³				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0256
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(木材類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 10:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	11:30	承認	審査	作成
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事					
	発生場所	物揚場			2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13
	作業主管G	燃料管理グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/7/18	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICW-154
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
	1	不燃物(コンクリートガラ)	B	02	D	A	3 m ² 0.01 mSv/h 0.03 mSv/h 無
	2						
	3						
	4						
	5						
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	09	—	0257
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月19日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-082
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(コンクリートガラ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/19 10:35	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月20日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事									
	発生場所	物揚場					2018/9/13	2018/9/13			
	作業主管G	燃料管理グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/7/18	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-154			
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
メモ	15t車、25tレッカーを使用します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0258
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月20日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-082	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/20 8:05	8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事					
	発生場所	物揚場			2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13
	作業主管G	燃料管理グループ			監理員	TEL	
	元請会社				担当者	TEL	
	線量測定年月日	2018/7/18	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率
		①	②	③			表面線量率
	1	不燃物(金属ガラ)			B 01 D A	5 m ²	0.01 mSv/h
	2					m ²	
	3					m ²	
	4					m ²	
	5					m ²	
メモ	15t車、25tレッカーを使用します。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0259
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月20日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-082
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/20 10:40	8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012803 - 0027

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月21日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	燃料取扱機及びクレーン他設置工事								
	発生場所	物揚場					2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13	
	作業主管G	燃料管理グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/7/18	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-154	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	15t車、25tレッカーを使用します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0260
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-082	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/9/21 9:30	8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	9:00	承認	審査	作成				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア			2018/9/13	2018/9/13	2018/9/13				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/8/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号				
							1F-ICWBL-14				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			β・α 汚染の有無				
	1	金属ガラ	B	01	D	A	12 m ³	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	A	6 m ³	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	キヤスクNo.69 No.70 No.71										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	09	—	0285
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/9/20 8:50	6 m ³		ZK-01404	1
	1	2	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/9/20 8:50	6 m ³		ZK-01403	1
	2	1	不燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/9/20 8:50	6 m ³		ZK-01412	1
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	5号機 T/B 1FL TCW-Hxエリア			2018/9/14	2018/9/14	2018/9/14			
	作業主管G	機械グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/3	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-10			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	ウエス、段ボール、紙類	A 01	D B	2 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無		
	2	難燃シート	C 02	D B	0.1 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無		
	3	防燃シート	B 10	D B	0.5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無		
	4	スプレー缶、金属ガラ、配管類	B 01	D B	1 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無		
5	亜鉛板、亜鉛リング類	B 10	D B	0.2 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無			
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	09	—	0272
				2018/9/14
調整後保管日時		2018年9月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3		ICWBL	F1-ICWBL-111	
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ウエス、段ボール、紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 9:00	0.7 m ²			1
	2	1	難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 9:00	0.2 m ²			1
	3	1	防燃シート②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/9/19 9:30	0.5 m ²			3
	4	1	スプレー缶、金属ガラ、配管類⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/19 9:30	1 m ²			3
	5	1	亜鉛板、亜鉛リング類⑥	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/9/19 9:30	0.2 m ²			3
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	ゴムハッキン類	C	01	D	B	0.2	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無		
	7	掃除機、他	B	10	D	B	0.1	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無		
	8	スラッジ	B	04	D	B	0.1	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無		
	9	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.2	m ²	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無		
	10							m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	09	—	0272

保管 実績 記録 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	ゴムパッキン類	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 9:00	0.3	m ²			1
	7	1	掃除機、他 ②	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアP1(屋外)	2018/9/19 9:30	0.1	m ²			3
	8	1	スラッシュ ②	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアP1(屋外)	2018/9/19 9:30	0.1	m ²			3
	9	1	塩化ビニール類	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 9:00	0.2	m ²			2
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01紙・ウェス類	02プラスチック・ホリ・ビニール類	03木材類	04可燃物その他	05	—
				06—	07—	08—	09—	10	—
		B	不燃物	01金属ガラ	02コンクリートガラ	03機器類・制御盤類	04土砂類	05	塩化ビニール類
				06保温材	07石綿含有物	08ケーブル類	09アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11フランジタンク本体	12フランジタンク付属品	13—	14—	15	—
		C	難燃物	01ゴム類	02難燃シート類	03ホース類	04難燃物その他	05	—
				01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—	04—	05	—
		D	伐採木	01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—	04—	05	—
				01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—	04—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0061

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月21日	(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	屋外仮設変圧器盤単独除却								
	発生場所	・1〜4号機屋外・共用プール屋外			2018/9/18	2018/9/18	2018/9/18			
	作業主管G	所内電源グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号			
	F1-ICW-186									
No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
1	ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	企業殿持込み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	09	—	0282
				2018/9/19
調整後保管日時		2018年9月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年9月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μ Sv/h	30 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 10:30	5.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/8/1	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
	回収 GP-27南東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0016
				2018/8/24
調整後保管日時		2018年9月20日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年9月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:15	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:15	0.3 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:15	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業主管理	保管希望日時	2018年9月18日		(火)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2018/9/18	2018/9/18	2018/9/18	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/9/18	測定者			測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	221,14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	フランジタンク片側板(180022)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2	フランジタンク片側板(180023)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β有
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒Pエリアへ保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0029
				2018/9/19
調整後保管日時		2018年9月18日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180022)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/9/18 11:10	21 m ²		180022	1
	2	1	フランジタンク片側板(180023)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/9/18 11:10	21 m ²		180023	1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2018/9/20	2018/9/20	2018/9/20		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/19	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	221,14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180026)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	フランジタンク片天板(180034)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.003 mSv/h	β有	25 mSv/h
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒No. 1 AAエリア、No. 2 Pエリア										

受付番号			
高2018	—	09	— 0030
2018/9/20			
調整後保管日時	2018年9月19日		13:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180026)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/19 11:15	21 m ²		180026	1
	2	1	フランジタンク片天板(180034)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/9/19 12:05	21 m ²		180034	1
									m ²			
									m ²			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	13:00	承認	審査	作成				
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟			2018/9/20	2018/9/20	2018/9/20				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/9/20	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号				
							221,14				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180020)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	フランジタンク片天板(180024)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3	フランジタンク片天板(180008)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
入欄	4					m ²					
	5					m ²					
メ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0031
				2018/9/20
調整後保管日時		2018年9月20日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180020)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/20 11:15	21 m ²		180020	1
	2	1	フランジタンク片天板(180024)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/20 11:20	21 m ²		180024	1
	3	1	フランジタンク片天板(180008)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/20 11:10	21 m ²		180008	1
									m ²			
メ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月21日		(金)	13:00	承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定換機材倉庫A・B棟					2018/9/21	2018/9/21			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/9/21	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	221,14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β+γ 線量率			
	1	フランジタンク片天板(180012)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	フランジタンク片天板(180004)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0032
				2018/9/25
調整後保管日時		2018年9月21日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年9月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(180012)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/21 10:45	21 m ²		180012	1
	2	1	フランジタンク片天板(180004)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/9/21 10:50	21 m ²		180004	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月18日	(火)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事									
	発生場所	1～4号機周辺(GL-26 北)			2018/8/29	2018/8/29	2018/8/29				
	作業主管G	地下水調査グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/8/23	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-360				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	ラミネート類	A	04	D	B	3 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
	2	ゴム類	A	01	D	B	2 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0044
				2018/8/30
調整後保管日時		2018年9月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ラミネート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:10	1.5 m ²			1
	2	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:10	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウイス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No.	6013206	-	0003
-------	---------	---	------

固体廃棄物管理G記入欄					受付	
受付番号						
高2018	—	09	—	0075		
調整後保管日時			2018年9月20日		8:30	
【保管時の指示事項等】						
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の話込みをお願いします。						

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。												

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	免震重要棟外調機設備更新工事					
	発生場所	免震重要棟			2018/9/6	2018/9/6	2018/9/6
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/7/26	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率
		①	②	③			表面線量率
	1	マットレス	A	04	D	A	5 m ²
	2						m ²
	3						m ²
	4						m ²
	5						m ²
メモ	回収場所: GU-21 裸荷予定						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	09	—	0076
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	マットレス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	02 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0003

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月20日		(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	免震重要棟外調機設備更新工事							
	発生場所	免震重要棟					2018/9/6	2018/9/6	2018/9/6
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/26	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	FI-ICW-166	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材	A 03	D B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
	5				m ²				
	回収場所: GU-21								

受付番号				2018/9/6
高2018	—	09	—	
調整後保管日時		2018年9月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	木材							エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 9:00	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年9月18日	(火)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/6	2018/9/6	2018/9/5			
	作業主管 G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/5	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	268		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙	A	01	D	A	5 m ²	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
メ モ	巡回回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0081
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月18日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
01	伐採木(幹・根)			02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
F	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月18日	(火)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/6	2018/9/6	2018/9/5
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/9/15	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率
		①	②	③			表面線量率
	1	紙	A	01	D	A	5 m ²
	2						5 μSv/h
	3						5 μSv/h
	4						5 μSv/h
	5						5 μSv/h
	巡回回収場所: GM-19 北東						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0082
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
	1	1	紙	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 10:00	3.6 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	9:30	承認	審査	作成													
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																		
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/6	2018/9/6	2018/9/5													
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2018/9/5	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	268												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率											
		①	②	③																
		1	ペットボトル	A						02	D	A	5	m ³	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	無	
		2											m ³							
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														
巡回回収場所:GM-19 北東																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0083
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 9:30	5.3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/9/6	2018/9/6		
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/5	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	268		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ペットボトル	A	02	D	A	5 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
メ	巡回回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0084
				2018/9/6
調整後保管日時		2018年9月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 10:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フレンジタンク本体	12	フレンジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事								
	発生場所	Dタンクエリア					2018/9/7	2018/9/6	2018/9/6	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/5	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-26		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	プラ・ポリ・ビニール	A	02	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GT-19東にて回収をお願いします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0088
				2018/9/7
調整後保管日時		2018年9月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 10:00	1.5 m ²			1
	2	1	プラ・ポリ・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 10:00	2.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事									
	発生場所	Dタンクエリア			2018/9/7	2018/9/6	2018/9/6				
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2018/9/5	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-26				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	木材類	A	03	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	巡回回収場所:GT-19東にて回収お願いします。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0089
				2018/9/7
調整後保管日時		2018年9月20日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年9月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 10:00	3 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 10:00	1.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		
F	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		
		01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月21日	(金)	10:30	承認	審査	作成													
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事																		
	発生場所	Dタンクエリア			2018/9/7	2018/9/6	2018/9/6													
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL														
	元請会社			担当者		TEL														
	線量測定年月日	2018/9/5	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICWBL-26													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	木材類	A						03	D	B	3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	紙・ウエス類	A						01	D	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3											m ²							
4						m ²														
5						m ²														
巡回回収場所:GT-19東にて回収お願いします。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0090
				2018/9/7
調整後保管日時		2018年9月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 10:00	3 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 10:00	2.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
巡回回収場所:GT-19東にて回収お願いします。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フレンジタンク本体	12	フレンジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7				
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	リ-ICW	管理番号 287				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無				
	1	段ボール	A	01	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	巡回回収場所:GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0094
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	段ボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 9:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	10:00	承認	審査	作成													
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務																		
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7													
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	リ-ICW	管理番号	287												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	段ボール	A						01	D	A	5	m ²	3	μSv/h	3	μSv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														
巡回回収場所:GM-19 北東																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0095
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	段ボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 10:00	4.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月21日	(金)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	リ-ICW	管理番号 287			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ビニール類			① A ② 02 ③ D A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
	巡回回収場所:GM-19 北東									

受付番号			
高2018	—	09	— 0096
2018/9/10			
調整後保管日時	2018年9月21日		9:30
【保管時の指示事項等】			
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年9月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月21日	(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	リ-ICW	管理番号			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ビニール類			① ② ③	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	巡回回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0097
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月21日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 9:30	4.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月21日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	加工場(GT-24東)					2018/9/7	2018/9/7	2018/9/7	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/9/7	測定者		測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ウエス類	A	01	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4						m ²			
	5						m ²			
	巡回回収場所:GT-24東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0099
				2018/9/10
調整後保管日時		2018年9月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 9:10	1.4 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 9:10	0.1 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 9:10	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年9月18日	(火)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事						
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12	
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	
							F1-ICWBL-55	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウェス類(紙他)	A	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h
メ モ	2	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	A	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h
	3	可燃その他(トンパック他)	A	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h
	4	ゴム類(ゴムシート他)	C	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h
	5	難燃シート類(ピンクシート他)	C	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h
	巡回回収場所: GK-10西～中央							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0106
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス類(紙他)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:20	0.4 m ²			1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:20	1 m ²			1
3	1	可燃その他(トンパック他)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:20	1 m ²			1
4	1	ゴム類(ゴムシート他)	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:20	0.1 m ²			1
5	1	難燃シート類(ピンクシート他)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/18 8:20	0.2 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)					2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12	
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウェス類(紙他)	A	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	A	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3	可燃その他(トンパック他)	A	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
4	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5	難燃シート類(ピンクシート他)	C	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
巡回回収場所	GK-10西～中央									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0107
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月19日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年9月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	紙・ウェス類(紙他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:30	1.1 m ²			1	
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:30	0.4 m ²			1	
3	1	可燃その他(トンパック他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:30	1.3 m ²			1	
4	1	塩化ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:30	0.2 m ²			2	
5	1	難燃シート類(ピンクシート他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:30	0.3 m ²			1	
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有			③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月20日	(木)	8:30	承認	審査	作成				
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事									
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12				
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL							
	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		保管物名	①	②	③		$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	紙・ウェス類(紙他)	A	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	A	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	可燃その他(パウチ紙他)	A	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	4	ゴム類(ゴムシート他)	G	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	5	難燃その他(ピンクテープ他)	G	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	巡回回収場所: GK-10西～中央										

受付番号			
高2018	—	09	—
		0108	
2018/9/12			
調整後保管日時		2018年9月20日	
		8:30	
【保管時の指示事項等】			
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。			

線量測定内容			
測定日	2018年9月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	紙・ウェス類(紙他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:30	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:30	0.3 m ²			1
	3	1	可燃その他(パウチ紙他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:30	1.9 m ²			1
	4	1	ゴム類(ゴムシート他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:30	0.05 m ²			1
	5	1	難燃その他(ピンクテープ他)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/20 8:30	0.05 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0008

作業主管理	保管希望日時	2018年9月21日	(金)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	3, 4号機T/B防水性向上対策工事								
	発生場所	3号機タービン建屋・プロセス建屋(GK-10西～中央)			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12			
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2018/9/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-55			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
		①	②	③			β・α 汚染の有無			
							β+γ 線量率			
	1	紙・ウェス類(紙他)	A	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	A	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	木材類(角材他)	A	03	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	可燃その他(皮手袋他)	A	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5	ゴム類(ゴムシート他)	C	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
巡回回収場所	GK-10西～中央									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0109
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月21日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス類(紙他)	2	μSv/h	2	μSv/h	エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 8:30	0.3 m ²			1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ネット他)	2	μSv/h	2	μSv/h	エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 8:30	0.2 m ²			1
4	1	可燃その他(皮手袋他)	2	μSv/h	2	μSv/h	エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 8:30	2.5 m ²			1
5	1	ゴム類(ゴムシート他)	2	μSv/h	2	μSv/h	エリアV(瓦礫類)	2018/9/21 8:30	0.01 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —

③ 履歴 A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013606 - 0003

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年9月19日	(水)	10:30	承認	審査	作成													
	作業件名	1~4号機 高レベル放射性滞留水設備運転委託																		
	発生場所	Cエリア(高レベル放射性滞留水設備(RO)) (GN-27 西)			2018/9/12	2018/9/12	2018/9/12													
	作業主管G	水処理計画グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者		測定器名	ICW(β)	管理番号													
							F1-2CWBL-18													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	空キュービテナー(355ポリ袋入)	A						02	W	A	2	m ³	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
		2	キュービテナー梱包段ボール	A						01	D	A	3	m ³	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
		3												m ³						
		4												m ³						
5							m ³													
巡回回収場所:GN-27 西																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0114
				2018/9/12
調整後保管日時		2018年9月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年9月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	空キュービテナー(355ポリ袋入)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 10:30	2	m ³			1
2	1	キュービテナー梱包段ボール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 10:30	3.2	m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年9月19日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア(GJ32 東南)								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/9/12	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-119
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	可燃物その他	A	04	W	B	2 m ²	0.008 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	W	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	09	—	0115
				2018/9/13
調整後保管日時		2018年9月19日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年9月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1		可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:45	0.05 m ²			1
2	1		紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:45	1.3 m ²			1
3	1		プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 8:45	0.2 m ²			1
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

計上No. 6013803 - 0022

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	09	—	0116	
					2018/9/13
調整後保管日時			2018年9月19日		9:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$								
	1	1	木材類	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアV(瓦礫類)	2018/9/19 9:00	0.2 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。